サラート
イスラームの礼拝

Salat (Prayers)

الصلاة

Islamic Center - Japan

サラート
イスラームの礼拝

Salat (Prayers)

الصَلاة

Islamic Center-Japan

目　次

序文 …… 3
用語解説 …… 7

Ⅰ　イスラームの教え …… 9
　イスラームとは …… 9
　イスラームの六つの信仰 …… 9
　イスラームの五つの行 …… 9

Ⅱ　礼拝のしかた …… 11
　礼拝の意義 …… 11
　礼拝に際して注意すべき点 …… 11
　アザーン …… 12
　タハーラ …… 13
　イスティンジャー …… 13
　ウドゥー …… 13
　グスル …… 14
　タヤンムム …… 15
　イカーマ …… 15
　礼拝の捧げ方 …… 17
　一日五回の礼拝とその時刻 …… 24
　礼拝の種別とラカートの数 …… 24
　金曜日（ジュムア）の礼拝 …… 26
　その他の特殊な礼拝 …… 27
　特別の事情における礼拝 …… 30
　礼拝上の諸注意 …… 31

Ⅲ　聖クルアーンの読み方 …… 33

序　文——礼拝の意義——

イスラームには行動規範ともいうべき五つの柱がありますが，礼拝（サラート）はその内でも二番目に重要なものです。勿論第一は信仰の告白（シャハーダ）であります。断食（サウム）は一年のうち一ケ月これを行い，喜捨（ザカート）は一年に一度，マッカへの大巡礼（ハッジ）は一生のうち一度これを行いますが，礼拝は一日に五回，すなわち夜明け前，午後早く，午後遅く，日没直後，そして夜に行います。イスラームの真髄は神の存在を認め，神に帰依することであり，それを実践するための最も直接的な手段が礼拝であるともいえます。一週間に一度とか一日に一回の礼拝では不充分であり，日々の実践的な行動を怠ることによって，われわれは創造主を忘れがちになります。礼拝が一日に五回必要とされている理由はここにあります。

一日に五回の礼拝を毎日続けることはむずかしいように思えるかも知れませんが，創造主（アッラー）の前では無力であり，死後の世界ではアッラーにお会いできることを信じている者にとっては，礼拝こそ喜びであり楽しみであるのです。このことについては，イスラームの聖典クルアーンに次のように述べられています。

> 忍耐と礼拝によって，（アッラーの）御助けを請い願いなさい。だがそれは，（主を畏れる）謙虚な者でなければ本当に難かしいこと。敬神の仲間はやがて主に会うこと，かれの御許に帰り行くことを堅く心に銘記している者である。　（第2章45・46節）

イスラームの礼拝は，他の宗教の礼拝と同じように，いくつかの形式，すなわち定められた一連の作法とクルアーンの読唱からなっています。これについては本文で詳しく説明しますが，ここで注意していただきたいことは，礼拝の動作や唱える言葉それ自体は礼拝の本質ではない，ということです。では，礼拝の本質とは何か。それはイスラームのすべての務め（喜捨，断食，巡礼）と同様，ムス

リムが全身全霊をこめて神（アッラー）に帰依することなのです。礼拝のたびに神に対する気持のすべてを披瀝することはできないかもしれませんが，それをするかしないかは別として，とにかく一日五回の礼拝は欠かさず実行しなくてはなりません。

礼拝の義務をまったく怠り，またはたまにしか礼拝しないと，その人は次第に神への帰依の心を失って行くことは想像にかたくありません。礼拝を無視すれば，たとえその人がイスラームの信者であると自称したとしても，次第に神や来世を信じないような考え方や行動をとるようになってくるものです。しかしこれとは反対に，定められた礼拝を継続して行う者は，次第に自分が主の前にあることを深く感じ，心に平和を覚え，善と悪に対する確固たる信念をもって行動すると同時に，神に対するまことの帰依の精神を保つようになるのです。常に礼拝を行う者は，自分が限られた能力しかない一人の人間にすぎず，この地上に生きる時間は僅かであることを認識し，また，主は絶対的な創造主で宇宙の主権者であり，人間に生命を与えられた方であるから人間はこの主の許に帰る存在である，という事実を片時も忘れることはないのです。更に，常に礼拝を行う者は，神によって定められた分を超えないよう注意するようになり，自分の良い部分を伸ばし，誤った行為や欲望を制御できるようになるのです。そうしてやがては自分のあらゆる行動において，たやすく，またごく自然に善悪をはっきりと識別できるようになります。

礼拝（サラート）について述べているクルアーンの数節を以下に抜粋してみましょう。

あなたがた信仰する者よ，忍耐と礼拝によって助けを求めなさい。本当にアッラーは耐え忍ぶ者と共におられる。

（第2章153節）

これらの信仰した者たちは，アッラーを唱念し，心の安らぎを得る。アッラーを唱念することにより，心の安らぎが得られないはずがないのである。（第13章28節）

太陽が（中天を過ぎ）傾く時から夜のとばりが降りるまで，礼拝

の務めを守り，また暁には礼拝をしなさい。本当に暁の礼拝には立会人がいる。

また夜の或る時間を起きて礼拝を務めれば，あなたのために余分の賜物があろう。主はあなたを，光栄ある地位に就かせて下される。

（第17章78・79節）

……太陽が上がる前，またそれが沈む前に，あなたの主の栄光を讃えなさい。なお夜の一時も，また昼の両端にも讃えなさい。必ずあなたがたは満たされるであろう。（第20章130節）

それで，夕暮にまた暁に，アッラーを讃えなさい。天においても地にあっても，栄光はかれに属する。午后遅くに，また日の傾き初めに，（アッラーを讃えなさい）。（第30章17・18節）

礼拝の務めを守り，定めの喜捨をしなさい。あなたがたが自分の魂のためになるよう行ったどんな善事も，アッラーの御許で見出されるであろう。誠にアッラーは，あなたがたの行うことを御存知であられる。（第2章110節）

アッラーの方では，特にわれわれ人間の礼拝を必要とはしておられないということは充分心に留めておかねばなりません。というのは，アッラーは何ものをも必要とされないお方だからです。人間に関するすべての事象を含めて，全宇宙を統べ給うアッラーの権威は，たとえ誰ひとりとしてかれを認めず，またはかれに礼拝を捧げずとも，いささかもそこなわれることはないのです。アッラーは，その尊厳と栄光を増そうとしてわれわれ人間に平伏や称讃の言葉を求められることはありません。礼拝は，われわれ自身のため，われわれ自身の心の安らぎのためのものであって，アッラーの栄光をたたえ，感謝と称讃の心をもってかれのみ前にぬかづこうとする，われわれ自身の自然の本能にもとづいて行われるものなのです。

イスラームの礼拝の作法は，このような本能的な願望を端的に形式化し，発展させたものなのです。礼拝の前にわれわれはウドゥーをして体を洗いますが，これはただ単に体を清めるというだけでなく，礼拝の行為そのものに対する精神的準備でもあるのです。われわれはアッラーのみ前に立って，かれの導きとお助けを求め，われわれに正しい道を示し給うよう，繰返しアッラーに祈ります。われわれはアッラーの啓典（クルアーン）を読唱することにより，アッラーの慈悲と公正さ，いつの日かわれわれがアッラーのみもとに帰ってすべてを捧げつくすといった事実を再認識するとともに，クルアーンのさまざまな道徳的な教えを改めて心にきざむのです。身をかがめて平伏することは，アッラーに対する謙譲と帰依の心の端的な肉体的表現なのです。

沐浴と礼拝の時に行う動作とクルアーンの読唱は，われわれの預言者が行われたと全く同じやり方で行われます。全世界のすべてのムスリム（イスラーム教徒）が，かつて預言者が礼拝されたのと全く同じやり方で礼拝をするのです。かくしてムスリムは，自分たちとアッラーとそのみ使いが一つの共同体を形成していることを立証するのです。

前置きが長くなりましたが，実際の礼拝の作法については，本文を御参照下さい。

ただし写真と文章の説明だけでは，実際の動作を学ぶことは大変難かしいでしょう。イスラミックセンター・ジャパンでは，常時希望者にたいしサラートの指導を行っておりますので，遠慮なく御連絡下さい。またイスラームそのものについて疑問のある方も是非お越し下さいますよう。

＊本文中のクルアーン日本語訳は，日本ムスリム協会刊行の「日亜対訳聖クルアーン」による。

用語解説

1. **サラート**（礼拝）

ムスリム（イスラーム教徒）が，定められた形式で行う礼拝。

2. **ドゥアー**（アッラーへの祈願をこめた祈り）

ムスリムが，個人的にアッラーに対して祈願や嘆願するときの祈りである。

3. **ウドゥー**（小浄）

礼拝にさきだって，手足，顔など体の露出した部分を定められた順序で，水を使って洗い浄めること。

4. **タヤンムム**（水のない場合の小浄）

場所によって水が得られなかったり，病気などで水が使えないとき，清い土や砂または壁に手をふれて行う浄めの方法をいう。ウドゥーと同じく，一定の順序で行うことになっている。

5. **グスル**（全身沐浴）

ウドゥーは各礼拝毎に必ず行いますが，身心が特にけがれたときは，全身を水で洗い浄めます。これをグスルといいます。

6. **ファジュル**（早朝の礼拝）
7. **ズフル**（正午すぎの礼拝）
8. **アスル**（夕方の礼拝）
9. **マグリブ**（日没後の礼拝）
10. **イシャーウ**（就寝前の礼拝）

以上の6～10が毎日の定められた礼拝です。

11. **キブラ**（メッカのカアバ神殿の方向）

礼拝は正しくキブラに向って行います。

12. **ラカート**（礼拝の一単位）
13. **スーラ**（クルアーンの章）
14. **アル＝ファーティハ**（クルアーンの第一章・開端章）

礼拝の時，必ず一度はこの章を読唱します。

15. **ファルド**の礼拝

クルアーンに述べられている絶対的義務としての礼拝。

16. スンナの礼拝

預言者ムハンマドが行われたとおりに，ファルドの礼拝の前または後にささげる追加的礼拝。

17. イマーム

集団の礼拝を主宰する人。

18. アザーン

人びとに対する礼拝のよびかけ。

19. ジュムア（金曜日）の礼拝

毎週金曜日には，ムスリムはモスク（礼拝堂）に集まって，昼の集団礼拝をささげます。

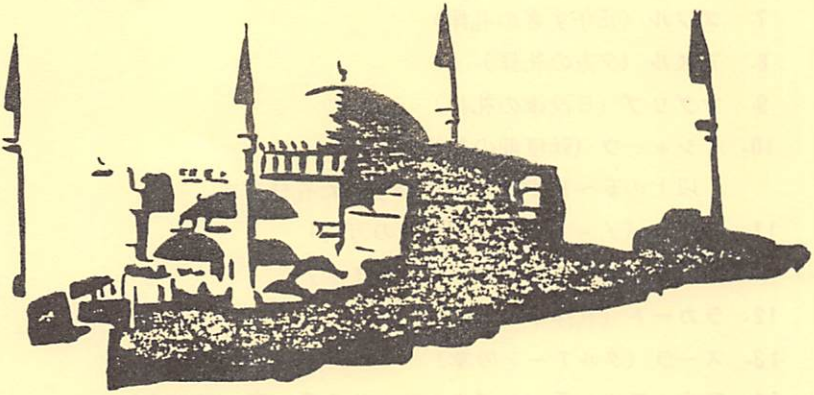
20. イード（イスラームのお祭り）

21. タクビール

アッラーフ・アクバル（アッラーは偉大である）と唱えること。

22. フトバ

イマームの行う説教。



I　イスラームの教え

イスラームとは

イスラームはアラビア語で「平和」を意味する語源が転化したことばで，「服従，帰依，従順」などの意味もあり，宗教的には神に対する完全な帰依，服従を表わすものです。

いつも唯一神アッラーの教えを守り，アッラーを敬愛することによって，愛護され，恐れや憂いを感じることのない心やすらかな状態に導かれます。そして肉体と精神が真の平和を獲得し，各自が自分の持てる力を最大限に発揮して，現世と来世において限りない幸福を享受できるよう説いているのがイスラームの教えなのです。

ここでは以下簡単にイスラームの信仰の基幹である六信五行にふれるだけで，詳細は他の機会に譲ることにします。

イスラームの六つの信仰

1.アッラーを信じること。
2.アッラーの天使達の存在を信じること。
3.アッラーにより啓示された諸啓典を信じること。とりわけクルアーンは最後の完全なものである。
4.アッラーにより遣わされた預言者達を信じること（特にムハンマド――彼の上に平安あれ――は最後の使者である）。
5.審判の日，死後の世界の存在を信じること。
6.人にはアッラーによって定められた運命があると信じること。

イスラームの五つの行

1．信仰の告白

「ラー　イラーハ　イッラッ＝ラーフ　ムハンマド　ラスールッ＝ラー」

アッラーの他に神はなく，ムハンマドはアッラーのみ使いであ

る，と唱えること。

2．サラート（礼拝）

これは五つの行のうち最大の柱で，一日五回捧げます。

3．サウム（断食）

イスラーム暦の九月（ラマダーン）の29日間か30日間，黎明から日没までの間，飲食はもちろん，さまざまな欲望を断ってアッラーの喜びのために専心するのです。

4．ザカート（喜捨）

ムスリムは，自分の蓄財（１年間蓄えた財産の一定部分）を喜捨します。また貧しい人や孤児や，神のために努力する者のためにこれを施こさなければなりません。

5．ハッジ（巡礼）

１年のうち特定の一時期に，イスラームの聖地マッカにあるカアバ神殿へ参詣し，種々の行事を行うこと。

充分な体力，時間，資力を備えるムスリムは，少なくとも一生に一度はこれを実行しなければなりません。

以上のようにイスラームの教えは六信五行から成り立つ簡明なものですが，同時にそこには深い哲理も含まれているのです。

II　礼拝のしかた

礼拝の意義

サラート（礼拝）は，イスラームの五つの行の中で最も重要なもので，み使いも「礼拝はイスラームの柱で，天国への鍵である」と言っています。毎日義務の礼拝として五回行いますが，それは常にアッラーの教えを守り，かれを讃美し，かれに服従を誓い，その導きと助けを求めて祈り，信心を深めるために行うものです。澄んだ心でアッラーと対話することです。怠惰な気持ちを退けて，厳粛で真剣に礼拝に立ち，定められた文句を唱えるのです。そうすることによって誰でもアッラーの無限の恩恵にあづかれるのです。

多忙な現代生活の中では，定められた時間に礼拝を捧げるのが困難な場合もありますが，そんな時には，満員電車の中ででも，礼拝を捧げることはできるのです。むしろ，工場で働く人のような場合でも，昼休みに礼拝を行うことによって，午後の労働への新しい活力となり，心が落着き，事故などの防止にも役に立つでしょう。

定められた形を守るというのは言うまでもないことですが，礼拝は各自とアッラーとの大事な精神的交流の問題ですから，その時の状態に応じて，最も良い道を求めて善処すればいいのです。

正しく真摯な礼拝にたいしてこそアッラーの大きな恩恵があるのです。

礼拝に際して注意すべき点

(イ)世界のどの地にいても，正しくキブラ（マッカのカアバ神殿の方角）に向うこと。

(ロ)身心を清浄にすること。

(ハ)定められた時間帯内で，定められた礼拝をすること。

(ニ)必ずニヤ（意志表明）を行うこと。

(ホ)服装に関しては，男性は最低限へそからひざまでの部分は衣服を

身につけること。女性は，手と顔以外はすべて衣服でおおうこと。以上５つの点が守られていないと，礼拝は無効になります。

アザーン

さて礼拝の時刻が訪れると，一人がムアッズィン（礼拝時間がきたことを告げる人）になって人々に礼拝への呼びかけをします。その朗々と響きわたる呼びかけをアザーンといいます。ただし女性はアザーンをしてはいけません。

①アッラーフ　アクバル　（４回唱える）

②アシュハド　アン　ラー　イラーハ　イッラッ＝ラー　（２回）

③アシュハド　アンナ　ムハンマダン　ラスールッ＝ラー　（２回）

④ハイヤー　アラッ＝サラー　（２回）

⑤ハイヤー　アラ＝ル＝ファラー　（２回）

⑥アッラーフ　アクバル　（２回）

⑦ラー　イラーハ　イッラッ＝ラー　（１回）

＜意味＞

①アッラーは偉大である

②アッラーの他に神はないことを証言する

③ムハンマドはアッラーのみ使いであることを証言する

④礼拝のために来たれ

⑤成功のために来たれ

⑥アッラーは偉大である

⑦アッラーの他に神はない

なお早朝の礼拝（ファジュル）の時は⑤の次に以下の文句を２回加えます。

アッ＝サラート　ハイルン　ミナン＝ナウム

＜意味＞

礼拝は睡眠にまさる

なお，人々はアザーンを謹聴し，その場で各節ごとに，各自それを口中で復唱することが望ましい。

また，④と⑤の際にはそのまま復唱しないで，ラー　ハウラ　ワラー　クウワタ　イッラー　ビッ＝ラー　アリイル　アズィーム（アッラーの他に力はない）と，それぞれ唱えます。

タハーラ（洗浄）

礼拝の前に身心を清浄にするため，タハーラを行います。タハーラには次のようなものがあります。

1. イスティンジャー

トイレで用を足した後，液体または固型物によって排泄器官を清浄にすること。通常，左手を用いて水で洗い流すのが良いとされています。しかし水が無い場合には，清潔（ターヒル）な紙や石のような固型物を用いても良いことになっています。

イスティンジャーは，礼拝をするしないにかかわらず，ムスリムがトイレで用を足した後に必ず実行しなければなりません。

2. ウドゥー

「清潔は信仰の半ばである」とみ使いも言っていますが，アッラーの前に立つにあたっては，心身ともに清浄にして，邪念を退けねばなりません。

そこで礼拝にさきだって水場へ行き，身体の特定の部分を定められた順序で浄めます。用水は，洗面器を使わず，蛇口から流れ出る水を右手のひらに受けて用います（一度使用した水をもう一度使用してはいけません）。これをウドゥー（小浄）といいます。

＜ウドゥーの方法＞

①ニヤ（意志表明）として「不浄をきよめるためにウドゥーをします」と唱える。

②バスマラを唱えます。バスマラとは「**ビスミッ＝ラーヒッ＝ラフマーニッ＝ラヒーム**」という文章のことで，その意味は「慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において」ということです。

③両手を手首まで三度洗う。
④右手に水を受け三度口をすすぐ。
⑤右手に水を受け三度鼻孔に吸い込み，すすぐ。
⑥顔を額の髪の生えぎわからあごまで，また両耳のところまで三度洗う。
⑦右腕次いで左腕を，肱のところまで三度洗う。
⑧ぬれた両手のひらで頭を前から後になでおろす。
⑨ぬれた指で両耳孔と外側をぬぐうのがよいとされている(随意)。
⑩右足次いで左足をくるぶしまで水を注ぎながら三度，指の間までよく洗う。
以上でウドゥーは終りますが，各動作は連続して行います。

＜ウドゥーの失効＞

なおウドゥーを行った後で下記のような行為があった場合は，再びウドゥーをやり直さなければ礼拝を捧げても無効です。

㋑睡眠，㋺放庇，㋩尿便，㋥呕吐，㋭流れる出血，㋬失神，㋣性交その他により精液をもらした時。

3. グスル

全身を洗い浄めることをグスル（大浄）といい，次の様な行為のあった時に行います。

㋑異性と交わった時
㋺夢精のあった時
㋩月経やお産をしたあと等

＜グスルの方法＞

①イスティンジャー，つまり排泄器官の浄めを行います。
②ニヤ（意志表明）として「不浄をきよめるためにグスルをしま

す」と念じます。

③バスマラを唱えます。

④ウドゥーを行い，特に口は充分にすすぎ，鼻孔も指を入れてすすぎます。

⑤体の汚れた部分をまず洗います。頭から水を三回かぶり，頭髪を含めて足の爪先まで，あますところなく水でよく洗います。

4. タヤンムム

場所によって水が得られなかったり，病気のために水の使用が不可能なときグスルやウドゥーの代りに行う浄めをタヤンムムといいます。

＜タヤンムムの方法＞

①ニヤ（意志表明）として「不浄をきよめるためにウドゥーまたはグスルの代りにタヤンムムを行います」と念じます。

②バスマラを唱えます。

③両手で乾いた土や石，あるいはそれに準ずるもの（自然のもの）に触れます。。

④その両手のひらで顔全体を一回なでおろします。

⑤手首のところまで手の内側と外側をなでます。

⑥右腕それから左腕を手首から肱のところまでなでます。

なお，水が手近にある場合にはタヤンムムは行わないが，タヤンムムを行ったあとすでに礼拝に入っている時はそのまま続けても構いません。

イカーマ

イカーマは義務（ファルド）の礼拝を捧げる直前に唱えるもので，礼拝が今始まるぞ，という呼びかけです。その内容はアザーンとほとんど同じですが，⑤と⑥の間に次の文句を二回唱えます。

カド　カーマティッ＝サラート・

＜意味＞　礼拝はまさに始まれり

1

2

3

4

5

6

7

8

9

＊ただし、イラストだけでやり方を理解するのは難しいと思われますので、お近くのムスリムと一緒にされることをお勧めします。

礼拝の捧げ方

さて，ウドゥー等により清浄な状態となり，イカーマを唱えた信者は，いよいよ礼拝に入ります。礼拝を捧げる際，唱える文句はすべてアラビア語を用います。しかし，当初からこれらすべての文句をおぼえてしまうことは無理なので，入信して日の浅い人は，**スブハーナッ＝ラー，スブハーナッ＝ラー**と，繰り返し口の中で唱えればよいのです（同時にファーティハ章の意味を念じることが良い）。そして礼拝が終るまでは，アッラーとの対話に専念し，体を動かしたり雑念に惑わされないようにします（ただし，雑念が起きても，礼拝が無効になるわけではありません）。

礼拝の各動作と唱える文意に精神を集中することが大切です。礼拝は次の順序で捧げます。22・23頁に礼拝の動作を写真で示していますので，それを参照して下さい。

❶正しくキブラ（メッカの方角）に向って立ち，自然の姿勢で手は体の両側にたれ，両足には適当な間隔をおきます。その際，眼は座礼の時に額のつく地点を注視します。なお，キブラの方角がわからないような場合は，自分の想像するキブラに向って礼拝すればいいのです。

❷ニヤ（意志表明）として「アッラーを称えて，何の礼拝を何ラカート（礼拝単位）します」と唱えます。（図1）

❸それからタクビール，すなわち

アッラーフ　アクバル

＜意味＞

アッラーは偉大である。

を唱えながら，両手を耳のところまで上げて，へその高さまで降ろし左手を下にして，右手の拇指と小指で左手首を握る形で両手を重ねます。婦人の場合は，手を肩まで上げてから胸の前に同様に右腕を上にして重ねます。この直立の姿勢をキヤームといいます。

なお，両手を耳のところまで上げる動作はアッラーに完全な服従を表明することを意味しています。

（図2.3）

❹キヤームの姿勢になったらすぐ，次のように口の中で唱えます。

㋑スブハーナカッ＝ラーフンマ　ワビ・ハムディカ

㋺ワタバーラカ＝スムカ　ワタアーラー　ジャッドゥカ

㋩ワラー　イラーハ　ガイルカ

＜意味＞

㋑おおアッラー，あなたを讃美し敬いたてまつる。

㋺祝福はあなたのみ名であり，あなたは高貴のきわみであられます。

㋩あなたの他に礼拝に価いするものはありません。

続いて次の文句を口の中で唱えます。

アウーズ　ビッ＝ラーヒ　ミナッ＝シャイターニッ＝ラジーム

＜意味＞

呪うべき悪魔にたいし，アッラーのお守りを祈りたてまつる。

ビスミッ＝ラーヒッ＝ラフマーニッ＝ラヒーム

＜意味＞

仁慈あまねく慈悲深き，アッラーのみ名によって。

❺それから，開端章（スーラト＝ル＝ファーティハ）を唱えます。

（35ページ参照）

❻引き続いてクルアーンの中の三節以上よりなる句を唱えます。ただし，長い節の場合は一節だけでも構いません。たとえば49ページにある，第112章（純正章）を唱えるのがいいでしょう。

❼続いてタクビール（アッラーフ　アクバル）を唱えながら立礼（ルクーウ）を一回します。その時，ひざ頭をつかむ形で腕や足を伸ばし，頭から首，背筋をまっすぐにして眼は足もとを注視し，次のように口の中で三回唱えます。

スブハーナ　ラッビヤ＝ル＝アズィーム

＜意味＞偉大なるわが主の栄光をたたえ奉る。

（図4）

❽それからサミアッ＝ラーフ　リ・マン　ハミダ

＜意味＞

アッラーは，たたえる者に，よろこび応えたもう。

と唱えながら直立の姿勢に戻り（図5），ただちに次の句を唱えます。

ラッバナー　ラカ＝ル＝ハムド

＜意味＞私達の主，あなたをたたえ奉る。

❾続いてタクビール（アッラーフ　アクバル）を唱えながら平伏叩頭（サジダ）の姿勢に入り，次の文句を口の中で三回唱えます。（図6）

スブハーナ　ラッビヤ＝ル＝アアラー

＜意味＞

荘厳崇高なわが主の栄光をたたえ奉る。

※アッラーに対する人間の敬意を表わす最良の姿勢であるサジダに際しては，まずひざ頭を床につけ，次いで五指を揃えてキブラに向けて両手をつき，それから鼻，額の順に床につけます。また，足の指も床についていなければなりません。

❿それからタクビール（アッラーフ　アクバル）を唱えながらサジダの際と反対の順序で上体を起こし，座位になります。この姿勢をカアダといいます。そしてすぐに再びタクビールを唱えながら，二回目のサジダを❾と同じ様に行い，❾の文句を三回唱えます。（図7，図8）

⓫そしてタクビール（アッラーフ　アクバル）を唱えながら再び身体を起こし，座位に戻ります。

以上の❶～⓫までが礼拝の一単位で，最初の直立の姿勢から一回の立礼と二回の座礼で構成されています。これをラカートといいます。すなわちここまでで1ラカート終ったことになります。

⓬以上，第1ラカートを終えたなら，すぐタクビール（アッラーフ　アクバル）とともに立ち上って第2ラカートに移ります。同じように開端章を唱え，そのあと，第1ラカートで純正章を唱えましたから，今度は第113章（黎明章）を唱えます。第1ラカートの時唱えたものよりもあとの章から選び，前の章にさ

かのぼらないのが慣わしです。　（図9）

⑬そして第1ラカートと同じ様に一立礼と二座礼を捧げたならば，座位の姿勢のままで，次の誓いを口の中で唱えます。これをタシャッフドといいます。　（図10～15）

㋑アッ＝タヒーヤート　リッ＝ラーヒ　ワッ＝サラワート　ワッ＝タイイバート

㋺アッ＝サラーム　アライカ　アイユハン＝ナビーユ　ワラフマトッ＝ラーヒ　ワバラカートフ

㋩アッ＝サラーム　アライナー　ワアラー　イバーディッ＝ラーヒッ＝サーリヒーン

㋥アシュハド　アッ　ラー　イラーハ　イッラッ＝ラーフ

㋭ワアシュハド　アンナ　ムハンマダン　アブドゥフ　ワラスールフ

＜意味＞

㋑尊崇，礼讃，神聖のきわみのアッラーをたたえ奉る。

㋺おおみ使いよ，なんじに平安あれ，アッラーの恩恵と祝福あれ，

㋩私達すべてのもの，アッラーの忠誠なしもべの上に平安あれ，

㋥私はアッラーのほかに仕えるに価いするもののないことを誓う。

㋭また私はムハンマドがアッラーのしもべであり，み使いであることを誓う。　（図16）

※なお㋥の項で「イッラッ＝ラーフ」を唱える時，右手の人指しゆびを前方に突き出し，神が唯一であることを証明します。

⑭義務の礼拝が2ラカートで終る時は，続いて⑮へ移りますが，3ラカート以上の時は最初に戻ってタクビール（アッラーフアクバル）を唱えて直立の姿勢に戻り，開端章を各自口の中で唱えます。第3ラカートからは他の章節は唱えません。そして前と同様に一立礼，二座礼を捧げて礼拝終了段階に移ります。

⑮こうして定められたラカートを終えて，⑬のタシャッフドを唱え終えたなら，次の句を続いて唱えます。

㋑アッラーフンマ　サッリ　アラー　ムハンマディン　ワアラ

ー　アーリ　ムハンマディン

㋺カマー　サッライタ　アラー　イブラーヒーマ　ワアラー　アーリ　イブラーヒーム

㋩インナカ　ハミードゥン　マジード

㋥アッラーフンマ　バーリク　アラー　ムハンマディン　ワアラー　アーリ　ムハンマディン

㋭カマー　バーラクタ　アラー　イブラーヒーマ　ワアラー　アーリ　イブラーヒーム

㋬インナカ　ハミードゥン　マジード

＜意味＞

㋑おおアッラーよ，ムハンマドとその後継者にあなたの恵みをたれたまえ。

㋺あなたがイブラーヒーム（アブラハム）とその後継者に恵みを賜うたように。

㋩げにあなたは讃美すべきこうごうしい方であられます。

㋥おおアッラー，ムハンマドとその後継者を加護したまえ。

㋭あなたがイブラーヒームとその後継者を加護したように。

㋬げにあなたは讃美すべきこうごうしい方であられます。

⑯最後に，同胞のためにも平安と幸福がくるように祈ります。まず顔を右へ向けて，

アッサラーム・アライクム・ワラフマトッ＝ラー

＜意味＞

あなた方に，平安とアッラーのお恵みあれ。

と唱え，それから左の方に向いて同じ文句を唱えて，礼拝を終ります。（図17）

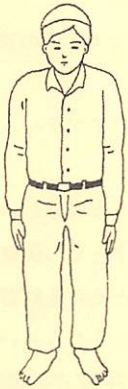
⑰礼拝後，その場でアッラーを称えて唱念（ズィクル）し，それから祈願（ドゥアー）を捧げます。ドゥアーは両手のひらを上向きにして胸の前にあげます。ただしこのズィクル，ドゥアーは義務ではありません。

1

2

3

4



5

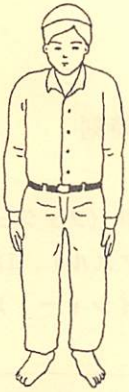
6

7

8

9

10



11

12

13

14

15

16

17

18

＊ただし、イラストだけでやり方を理解するのは難しいと思われますので、お近くのムスリムと一緒にされることをお勧めします。

一日五回の礼拝とその時刻

毎日の礼拝は，早朝の礼拝（**ファジュル**），正午過ぎの礼拝（**ズフル**），遅い午後の礼拝（**アスル**），日没後の礼拝（**マグリブ**），そして夜の就寝前の礼拝（**イシャー**）の五つです。

礼拝の名称	始め得る時刻	終る時刻
ファジュル	日の出1時間半前	日の出10分前
ズフル	正午の15分後	正午から3時間半
アスル	日没2時間半前	日没10分前
マグリブ	日没5分後	日没1時間後
イシャー	日没1時間半後	深夜

礼拝の種別とラカートの数

礼拝の種別 ＼ 礼拝の名称	ファルド（義務）	義務でない礼拝		
		スンナ（聖行）		ウィトル
		ファルド前	ファルド後	
ファジュル（早朝）	2	2		
ズフル（昼）	4	4	2	
ジュムア（金曜日の集礼）	2	4	4・2	
アスル（おそい午后）	4	(4)		
マグリブ（日没後）	3		2	
イシャー（就寝前）	4	(4)	2	3

●ファルドの礼拝

この礼拝は教徒が絶対的義務として捧げなければならない礼拝です。

●スンナの礼拝

これはみ使いムハンマドがファルドの礼拝の前または後に捧げていた礼拝で，行うことが奨励されています。

●ウィトルの礼拝

この礼拝はファルドの礼拝に次ぐ重要なもので，イシャーウのスンナの礼拝の後に3ラカート捧げます。ウィトルの礼拝では，第三番目のラカートが他の礼拝と異なります。

すなわち，開端章を唱えた後，クルアーンの短い章節を唱え，直ちにアッラーフ・アクバルを唱えながら手を耳のところまで上げて降ろし，キヤームの姿勢のまま次のドゥアーウニルニクヌートという祈りを口の中で唱えます。

㋑アッラーフンマ　インナー　ナスタイーヌカ

㋺ワナスタグフィルカ

㋩ワヌウミヌ　ビカ

㋥ワナタワッカル　アライカ　ワヌスニー　アライカニルニハイラ　クッラフ

㋭ワナシュクルカ　　ワラー　ナクフルカ

㋬ワナフラウ　ワナトルク　マン　ヤフジュルカ

㋣アッラーフンマ　イーヤーカ　ナアブド　ワラカ　ヌサッリー　ワナスジュド

㋠ワイライカ　ナスアー　ワナフフィド

㋡ワナルジュー　ラフマタカ

㋢ワナフシャー　アザーバカ

㋧インナ　アザーバカ　ビニルニクッファーリ　ムルヒク

＜意味＞

㋑おおアッラーよ，私達はあなたのご加護を請い，

㋺あなたのお許しを願います。

㈩また，あなたを信じ，

㈫あなたに帰依します。私達は最上の儀式であなたを讃え，

㈭あなたに感謝し，あなたのご恩は忘れません。

㈬またあなたに従わぬものと絶交して見捨てます。

㈠おおアッラーよ，あなたにのみ私達は仕え，あなたに祈りまた服従します。

㈮私達は急いであなたのもとに参じ精進します。

㈯私達は，あなたのお恵みを歎願し，

㈰あなたの懲罰を恐れます。

㈱まことにあなたの懲罰は不信者に対して下ります。

その後は，他のサラートと同様，ルクーウ，サジダをしてウィトルの礼拝を終ります。

●ナフルの礼拝

この礼拝は捧げることが望ましい，自由な随意の礼拝です。

（32ページ参照）

●カダーの礼拝

理由なく義務の礼拝を怠ることは大きな罪になります。しかし，定められた時間内に礼拝することができなかった場合は，次の礼拝の前になるべく早く，怠った義務の礼拝を捧げなければなりません。

「何の礼拝のカダーの礼拝をします」とニヤ（意志表明）を行い，あとはいつもと同じ方法で定められたラカートを終了します。

金曜日（ジュムア）の礼拝

毎週金曜日には，ムスリムはマスジド（礼拝堂）に集り，イマームの指導のもとに昼の礼拝を捧げます（これはズフルの礼拝の代りになります）。

アザーンが唱えられ，各自がスンナの礼拝を終ると，イマームは

ミンバル（説教壇）にのぼりフトバ（説教）をします。フトバは二つの部分に別れ，前段ではアッラーを讃美し，イスラームの教えについて述べます。後段ではみ使いムハンマド（かれに平安あれ）と，その教友及び殉教者達のために祈ります。フトバの一部はアラビア語でなければなりませんが，その他の部分は礼拝者に分り易い言語でなされることが望ましいのです。

それからファルド（義務）の礼拝２ラカートを捧げます。金曜日の礼拝は，近隣に住むムスリム達が一同に集まって厳修するものですが，互いに健康を祝い合い，信心をねり，親交をあたため合う時でもあるのです。

特に男性はこの礼拝に参加しなければなりませんが，女性の場合は必ずしも参加しなくてもよいのです。

その他の特殊な礼拝

ジャナーザ（葬儀）の礼拝

死後の魂の復活を信ずるイスラームでは，死体には沐浴を施し，それを白布に包み，顔をキブラ（メッカの方角）に向けて埋葬します。

葬儀は普通，キブラの方角に位置した棺の前にイマームが立ち，会葬者はその後に並びます。

ふだんの礼拝と同じようにウドゥーをすませ，イマームの先導により礼拝に入ります。ジャナーザの礼拝には立礼や座礼はなく，人々は直立の姿勢で祈りを捧げるのです。

①まずニヤ（意志表明）を行います。

「私は葬礼のタクビールをアッラーに捧げます。アッラーを讃美し奉り，み使いに対する恩恵を祈り，また故人に対するお許しを祈願いたします。私は顔をキブラに向けます。」

②それからタクビールをして，両手を耳まで上げてへその高さで組

み，次の様に唱えます。

スブハーナカッ＝ラーフンマ　ワビハムディカ　ワタバーラカ＝スムカ　ワタアーラー　ジャッドゥカ　ワラー　イラーハ　ガイルカ

＜意味＞

おおアッラー，あなたを讃美し敬いたてまつる。祝福はあなたのみ名であり，あなたは高貴のきわみであられます。あなたの他に礼拝に価いするものはありません。

③次いで，イマームの二回目のタクビール（手は，耳のところまで挙げません――以下同じ）の後，「礼拝の捧げ方」の項の●の言葉を唱えます。

④それから三回目のイマームのタクビールに続いて，死者が成人の場合は次のようなドゥアーを捧げます。

㋑**アッラーフンマ　アグフィル　リ・ハイナー　ワマイイティナー　ワシャーヒディナー　ワガーイビナー　ワサギーリナー　ワカビーリナー　ワザカリナー　ワウンサーナ**

㋺**アッラーフンマ　マン　アフヤイタフ　ミンナー　ファイフイヒ　アラ＝ル＝イスラーム　ワマン　タワッファイタフ　ミンナー　ファタワッファフ　アラ＝ル＝イーマーン**

＜意味＞

㋑おおアッラーよ，許したまえ。私達の生けるもの，私達の死んだもの，ここにいる者またいない者，老いも若きも，女も男も。

㋺おおアッラーよ。あなたが生を授けられた者がイスラームにのっとって生き，あなたが死を与えられた者が信仰を抱いたまま死ぬよう御配慮下さいますよう。

⑤それから四番目のタクビールの声に，一同右側を向いてアッサラーム・アライクム・ワラフマトッ＝ラーを唱え，次に左側を向いて同じ様に唱え，葬礼は終ります。

※なお，イスラームでは火葬が禁じられており，ムスリムの死体はそのまますみやかに墓に埋葬されるべきなのです。

イード＝ル＝フィトル（断食あけ）の礼拝

ラマダーンの終った日の次の日が，イード＝ル＝フィトルで，1カ月間に亘る長い斎戒を完全に果せたことをアッラーに感謝し，全世界のムスリムが祝うイスラームの大きな祝日です。

この日，定められた時刻に，ムスリム達はもよりの礼拝堂か，または広い場所に集まり，整列します。そしてイマームの指導のもとに，㋑ニヤをし，㋺タクビール（アッラーフ　アクバル）を唱え，それからキヤームの姿勢で従います。次にイマームは，㋩3度タクビールを唱えます。この際，各自最初のタクビールでは両手を耳のところまで上げてからへその高さまで降して組み，「礼拝の捧げ方」の❹にある「スブハーナカッ＝ラーフンマ……」を唱えます。2回目，3回目のタクビールの時は手をへその高さに組まず，脚の両側に自然に垂れます。そして，㋥4番目のタクビールの時，手を再びへその高さで重ねます。それからイマームがファーティハ（開端章）を，次いで他の章節を朗誦し，いつものようにルクーウと.サジダをして第1のラカートを終ります。

第2のラカートは，第1ラカートの時と違い，イマームがファーティハと他の章節を唱えた後に，タクビールを3回唱え，それに従って各自両手を耳のところまで上げ，そのつど体の両側に垂れます。そして4番目のタクビールの時，今度は手を耳まで上げず，すぐにルクーウに移ります。あとはいつもの礼拝と同様，アッサラーム・アライクムと唱えて礼拝を終ります。

ジュムアの礼拝の時とは違って，この場合は礼拝が終ってからイマームがミンバル（設教壇）に上り，2つのフトバ（説教）を述べて散会します。

この日，すべてのムスリムは，新調した衣服か，所持しているものの中で最上の衣服を身につけるのが慣わしで，途中で会う知人に対し，それぞれの国の習慣に従って，握手，抱擁，キスをして挨拶をかわし，また知人の家庭を訪問して喜びを伝え，イスラームで許される範囲内の方法で，祝いと歓楽に時を過ごすのです。

タラウィーの礼拝

タラウィーの礼拝は，ラマダーン月の斎戒中に毎晩イシャーウの礼拝後20ラカート捧げるものです。

クルアーンの一巻を短かく分けて20ラカートのうちに読唱し，2ラカートごとにサラームを唱えて一段節とします。そして，ラマダーンの1カ月間にクルアーンの全30巻を読唱して，タラウィーの礼拝が終了するのです。

特別の事情における礼拝

①病床にある場合

病状の許す限り床に座って礼拝し，それができない場合は，寝たままで礼拝してよいことになっています。

座って礼拝する時の立礼の動作は，額を床につけぬことによって座礼と区別します。

また寝たままで礼拝する時は，単に心の中で，起立（キヤーム），立礼（ルクーウ），叩頭（サジダ）などを念じて，各々に関係する文句を唱えるだけでよいのです。

②旅行中の場合

自分の家から80キロ以上離れた所に旅した場合は，4ラカートの義務の礼拝は，すべて2ラカートになります。但し3ラカートの義務の礼拝はそのままです。またスンナの礼拝はしなくてもよいことになっています。

目的地に着いてからも，その地に15日以上滞在する意志がない時は，2ラカートの礼拝でよいとされています。

③正規の礼拝が不可能な場合

身に危険が迫っている時，満員の乗物の中等，避けることのできない情況にあって，事実上きまった礼拝を捧げることが不可能の場合は，立ったままか座ったままで2ラカートの礼拝を捧げることによって，義務の礼拝に代えることができます。

④礼拝に遅刻した場合

集礼または義務の礼拝に遅刻した時は，ただちに列の端に参列してそのまま皆と同じ礼拝を捧げます。そして皆がサラームをする段になったら，遅刻した者はサラームをせずに立ち上がり，遅刻したために捧げることができなかった分だけの礼拝を補い，いつものように礼拝を終ります。

ここで「遅刻」という意味は，あるラカートのルクーウ（立礼）に間に合わなかったということで，ルクーウ以前に礼拝に参加した場合は，そのラカートを補う必要はないのです。

⑤礼拝中に誤りを犯した場合

礼拝を捧げている間に何か誤りを犯した時は，そのまま最後まで礼拝を続け，タシャッフドの後，右に顔を向けて一度サラームし，すぐに2回サジダをすれば，許しを願ったことになります。その上で，いつものようにタシャッフド，右左のサラームをして礼拝を終ります。

ただし，次のような行為があった時は，もう一度礼拝をやり直さなければなりません。

㋑礼拝中に話したり，礼拝の動作とは関係のない行動をとった場合。㋺歩いたり，飲食したりした場合。㋩顔がキブラの方角からそれた時（乗物の中は例外）。㋥大声を上げて笑った場合。

礼拝上の諸注意

❶礼拝を捧げてはならない時刻。

㋑太陽が地平線にかかった時，真上にある時，及び没する時。

また，ナフル（随意）の礼拝は，次のような時には捧げることが出来ません。

㋺ファジュルの礼拝と日の出の間，またアスルの礼拝とマグリブの礼拝の間。

㋩マスジドで，イカーマが唱えられてから集礼までの間。

㋥金曜日の集礼におけるフトバ（説教）の最中，及びフトバを終ってイマームが集礼の指導に移るまでの間。ただし，フトバの

前に礼拝に立っていた場合は，中止することなくそのままそれを完了します。

㋭イードニルニフィトル（断食あけ）の日におけるファジュルの礼拝とイードの礼拝の間，及びその後でも現にイードの礼拝が行なわれている場所。

㋬マスジドでの集礼を始める時が迫っていて，もはや時間に余裕がない時。

❷どんな場合でも，礼拝中の人の前を横切ることは，他の人の礼拝を損うことになり，罪を犯すことになるので厳禁されています。もしその必要がある時は，まっすぐ自分の後ろに向って最後尾までさがり，それから目的の場所へ行きます。しかし，礼拝はなるべく前方の，人が横切る必要のない所で捧げるのが望ましいのです。

❸夫婦以外は男女が一緒に並んで礼拝を捧げることはできません。また，女性は生理期間中は礼拝をしないことになっています。

❹日々の礼拝は，なるべく集団で捧げるのがよいとされています。この際，礼拝する者が二人しかいない時は，一人がイマームとして立ち，もう一人は彼のすぐ右側に足一つ分後方にさがって立ちます。三人以上いる時は，イマーム以外の人は皆その後方に横一列に並ぶのです。女性は男性の後方に横一列に並んで礼拝を捧げます。

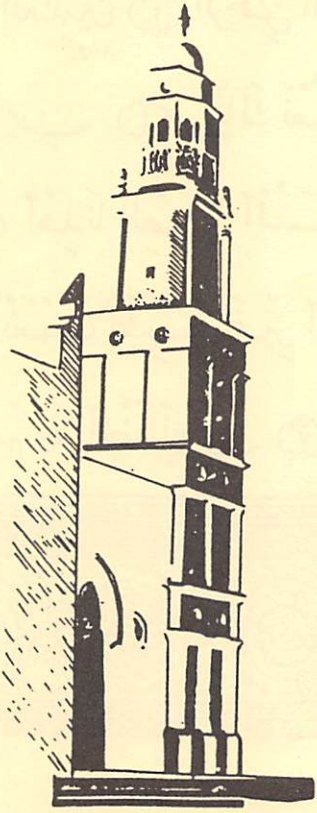
❺ナフル（随意）の礼拝

㋑タハジュードの礼拝は深夜から黎明にかけて捧げるナフルの礼拝で，4ラカートないし12ラカート捧げることが特に推奨されています。預言者ムハンマドも数時間にわたり，常にこの礼拝を行われたもので，そのために彼の足はむくんでいたと伝えられています。

万物が寝静まっている深夜，ひとり起きてアッラーの前にひれ伏ことによって，他では到底味わえぬものを体得することができます。ただし，これは義務の礼拝ではありません。

㋺タヒヤトニルニマスジドの礼拝は，マスジドに入った時に捧げるもので，通常2ラカート捧げます。

III　聖クルアーンの読み方



(١) سُورَةُ الفَاتِحَةِ

مَكِّيَّةٌ وَآيَاتُهَا سَبْعٌ

بِسْمِ ٱللَّهِ ٱلرَّحْمَٰنِ ٱلرَّحِيمِ ﴿١﴾

ٱلْحَمْدُ لِلَّهِ رَبِّ ٱلْعَٰلَمِينَ ﴿٢﴾ ٱلرَّحْمَٰنِ ٱلرَّحِيمِ ﴿٣﴾

مَٰلِكِ يَوْمِ ٱلدِّينِ ﴿٤﴾ إِيَّاكَ نَعْبُدُ وَإِيَّاكَ

نَسْتَعِينُ ﴿٥﴾ ٱهْدِنَا ٱلصِّرَٰطَ ٱلْمُسْتَقِيمَ ﴿٦﴾

صِرَٰطَ ٱلَّذِينَ أَنْعَمْتَ عَلَيْهِمْ غَيْرِ ٱلْمَغْضُوبِ

عَلَيْهِمْ وَلَا ٱلضَّآلِّينَ ﴿٧﴾

第1章
スーラト=ル=ファーティハ
開端章

①ビスミッ=ラーヒッ=ラフマーニッ=ラヒーム　②アル=ハムドゥ　リッ=ラーヒ　ラッビ=ル=アーラミーン　③アッ=ラフマーニッ=ラヒーム　④マーリキ　ヤウミッ=ディーン　⑤イイヤーカナアブドゥ　ワイイヤーカ　ナスタイーン　⑥イフディナッ=スィラータ=ル=ムスタキーム　⑦スィラータッ=ラズィーナ　アンアムタ　アライヒム　ガイリ=ル=マグドゥービ　アライヒム　ワラッ=ダーッリーン

＜意味＞

①慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。②万有の主，アッラーにこそ凡ての称讃あれ，③慈悲あまねく慈愛深き御方，④最後の審きの日の主宰者に。⑤わたしたちはあなたにのみ崇め仕え，あなたにのみ御助けを請い願う。⑥わたしたちを正しい道に導きたまえ，⑦あなたが御恵みま下された人々の道に，あなたの怒りを受けし者，また踏み迷える人々の道ではなく。

(١٠٢) سورة التكاثر مكية
وآياتها ثمان

بِسْمِ ٱللَّهِ ٱلرَّحْمَٰنِ ٱلرَّحِيمِ

أَلْهَىٰكُمُ ٱلتَّكَاثُرُ ﴿١﴾ حَتَّىٰ زُرْتُمُ ٱلْمَقَابِرَ ﴿٢﴾ كَلَّا سَوْفَ
تَعْلَمُونَ ﴿٣﴾ ثُمَّ كَلَّا سَوْفَ تَعْلَمُونَ ﴿٤﴾ كَلَّا لَوْ تَعْلَمُونَ
عِلْمَ ٱلْيَقِينِ ﴿٥﴾ لَتَرَوُنَّ ٱلْجَحِيمَ ﴿٦﴾ ثُمَّ لَتَرَوُنَّهَا عَيْنَ
ٱلْيَقِينِ ﴿٧﴾ ثُمَّ لَتُسْـَٔلُنَّ يَوْمَئِذٍ عَنِ ٱلنَّعِيمِ ﴿٨﴾

(١٠٣) سورة العصر مكية
وآياتها ثلاث

بِسْمِ ٱللَّهِ ٱلرَّحْمَٰنِ ٱلرَّحِيمِ

وَٱلْعَصْرِ ﴿١﴾ إِنَّ ٱلْإِنسَٰنَ لَفِى خُسْرٍ ﴿٢﴾ إِلَّا ٱلَّذِينَ

第102章
スーラトッ=タカースル
蓄積章

ビスミッニラーヒッニラフマーニッニラヒーム　①アルハークムッニタカースル　②ハッター　ズルトゥムニルニマカービル　③カッラー　サウファ　タアラムーン　④スンマ　カッラー　サウファ　タアラムーン　⑤カッラー　ラウ　タアラムーナ　イルマニルニヤキーン　⑥ラタラウンナニルニジャヒーム　⑦スンマ　ラタラウンナハー　アイナニルニヤキーン　⑧スンマ　ラトゥスアルンナ　ヤウマイズィン　アニニンニナイーム

＜意味＞

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。①あなたがたは（財産や息子などの）多いことを張り合って，現を抜かす。②墓に追い立てられるまでも。③いや，やがて（死後）あなたがたは（その真実を）知ろう。④もう一度言おうか，いや，やがてあなたがたは知ろう。⑤いや，あなたがたは（今に）はっきり知るとよいのである。⑥あなたがたは必ず獄火を見よう。⑦その時あなたがたはそれを明確に目で見ることであろう。⑧その日あなたがたは，（現を抜かしていた）享楽について，必ず問われるであろう。

第103章
スーラト=ル=アスル
時間章

ビスミッニラーヒッニラフマーニッニラヒーム　①ワルニアスル　②インナニルニインサーナ　ラフィー　フスル　③イッラッニラズィーナ　アーマヌー　ワアミルッニサーリハーティ　ワタワーサウビニルニハッキ　ワタワーサウ　ビッニサブル

ءَامَنُوا۟ وَعَمِلُوا۟ ٱلصَّٰلِحَٰتِ وَتَوَاصَوْا۟ بِٱلْحَقِّ وَتَوَاصَوْا۟

بِٱلصَّبْرِ ﴿٣﴾

(١٠٤) سُورَةُ الهُمَزَةِ مَكِّيَّةٌ وَآيَاتُهَا تِسْعٌ

بِسْمِ ٱللَّهِ ٱلرَّحْمَٰنِ ٱلرَّحِيمِ

وَيْلٌ لِّكُلِّ هُمَزَةٍ لُّمَزَةٍ ﴿١﴾ ٱلَّذِى جَمَعَ مَالًا وَعَدَّدَهُۥ ﴿٢﴾

يَحْسَبُ أَنَّ مَالَهُۥٓ أَخْلَدَهُۥ ﴿٣﴾ كَلَّا ۖ لَيُنۢبَذَنَّ فِى ٱلْحُطَمَةِ ﴿٤﴾

وَمَآ أَدْرَىٰكَ مَا ٱلْحُطَمَةُ ﴿٥﴾ نَارُ ٱللَّهِ ٱلْمُوقَدَةُ ﴿٦﴾

ٱلَّتِى تَطَّلِعُ عَلَى ٱلْأَفْـِٔدَةِ ﴿٧﴾ إِنَّهَا عَلَيْهِم مُّؤْصَدَةٌ ﴿٨﴾

فِى عَمَدٍ مُّمَدَّدَةٍۭ ﴿٩﴾

＜意味＞

慈愛あまねく慈愛深きアッラーの御名において。①時間にかけて（誓う）。②本当に人間は，喪失の中にいる。③信仰して善行に勤しみ，互いに真理を勧めあい，また忍耐を勧めあう者たちの外は。

第104章
スーラト＝ル＝フマザ
中傷者章

ビスミッ＝ラーヒッ＝ラフマーニッ＝ラヒーム　①ワイルン　リクッリ　フマザティン　ルマザ　②アッラズィー　ジャマア　マーラン　ワアッダダフ　③ヤフサブ　アンナ　マーラフー　アフラダフ　④カッラー　ラユンバザンナ　フィ＝ル＝フタマ　⑤ワマー　アドラーカ　マ＝ル＝フタマ　⑥ナールッ＝ラーヒ＝ル＝ムーカダ　⑦アッラティー　タッタリウ　アラ＝ル＝アフイダ　⑧インナハー　アライヒン　ムウサダ　⑨フィー　アマディン　ムマッダダ

＜意味＞

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。①災いなるかな，凡ての悪口を言って中傷する者。②財を集めて計算する（のに余念のない）者。③本当その財が，かれを永久に生かすと考えている。④断じてそうではない。かれは必ず業火の中に，投げ込まれる。⑤業火が，何であるかをあなたに理解させるものは何か。⑥（それは）ぼうぼうと燃えているアッラーの火，⑦心臓を焼き尽し，⑧かれらの頭上に完全に覆い被さり，⑨（逃れることの出来ない）列柱の中に。

(١٠٥) سورة الفيل مكية
وآياتها خمس

بِسْمِ ٱللَّهِ ٱلرَّحْمَٰنِ ٱلرَّحِيمِ

أَلَمْ تَرَ كَيْفَ فَعَلَ رَبُّكَ بِأَصْحَٰبِ ٱلْفِيلِ ﴿١﴾ أَلَمْ يَجْعَلْ كَيْدَهُمْ
فِى تَضْلِيلٍ ﴿٢﴾ وَأَرْسَلَ عَلَيْهِمْ طَيْرًا أَبَابِيلَ ﴿٣﴾ تَرْمِيهِم
بِحِجَارَةٍ مِّن سِجِّيلٍ ﴿٤﴾ فَجَعَلَهُمْ كَعَصْفٍ مَّأْكُولٍ ﴿٥﴾

(١٠٦) سورة قريش مكية
وآياتها أربع

بِسْمِ ٱللَّهِ ٱلرَّحْمَٰنِ ٱلرَّحِيمِ

لِإِيلَٰفِ قُرَيْشٍ ﴿١﴾ إِۦلَٰفِهِمْ رِحْلَةَ ٱلشِّتَآءِ

第105章
スーラト=ル=フィール
象　　章

ビスミッ＝ラーヒッ＝ラフマーニッ＝ラヒーム　①アラム　タラ　カイファ　ファアラ　ラッブカ　ビアスハービ＝ル＝フィール　②アラム　ヤジュアル　カイダフム　フィー　タドリール　③ワアルサラ　アライヒム　タイラン　アバービール　④タルミーヒム　ビヒジャーラティン　ミン　スィッジール　⑤ファジャアラフム　カアスフィン　マァクール

＜意味＞

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。①あなたの主が，象の仲間に，どう対処なされたか，知らなかったのか。②かれは，かれらの計略を壊滅させられたではないか。③かれらの上に群れなす数多の鳥を遣わされ，④焼き土の礫を投げつけさせて，⑤食い荒らされた藁屑のようになされた。

第106章
スーラト=ル=クライシュ
クライシュ章

ビスミッ＝ラーヒッ＝ラフマーニッ＝ラヒーム　①リイーラーフィ　クライシュ　②イーラーフィヒム　リフラタッ＝シターイ　ワッ＝サイフ　③ファルヤアブドゥー　ラッバ　ハーザ＝ル＝バイト　④アッラズィー　アトアマフン　ミン　ジューイン　ワアーマナフン　ミン　ハウフ

وَٱلصَّيۡفِ ﴿٢﴾ فَلۡيَعۡبُدُواْ رَبَّ هَٰذَا ٱلۡبَيۡتِ ﴿٣﴾ ٱلَّذِيٓ
أَطۡعَمَهُم مِّن جُوعٖ وَءَامَنَهُم مِّنۡ خَوۡفِۭ ﴿٤﴾

(١٠٧) سُورَةُ المَاعُونِ مَكِّيَّةٌ
وَآيَاتُهَا سَبْعٌ

بِسۡمِ ٱللَّهِ ٱلرَّحۡمَٰنِ ٱلرَّحِيمِ

أَرَءَيۡتَ ٱلَّذِي يُكَذِّبُ بِٱلدِّينِ ﴿١﴾ فَذَٰلِكَ ٱلَّذِي يَدُعُّ
ٱلۡيَتِيمَ ﴿٢﴾ وَلَا يَحُضُّ عَلَىٰ طَعَامِ ٱلۡمِسۡكِينِ ﴿٣﴾
فَوَيۡلٞ لِّلۡمُصَلِّينَ ﴿٤﴾ ٱلَّذِينَ هُمۡ عَن صَلَاتِهِمۡ
سَاهُونَ ﴿٥﴾ ٱلَّذِينَ هُمۡ يُرَآءُونَ ﴿٦﴾ وَيَمۡنَعُونَ
ٱلۡمَاعُونَ ﴿٧﴾

＜意味＞

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。①クライシュ族の保護のため，②冬と夏のかれらの隊商の保護のため，（そのアッラーの御恵みのために）③かれらに，この聖殿の主に仕えさせよ。④飢えに際しては，かれらに食物を与え，また恐れに際しては，それを除き心を安らかにして下さる御方に。

第107章
スーラト＝ル＝マーウーン
必需品章

ビスミッ＝ラーヒッ＝ラフマーニッ＝ラヒーム ①アラアイタッ＝ラズィー ユカッズィブ ビッ＝ディーン ②ファザーリカッ＝ラズィー ヤドッウ＝ル＝ヤティーム ③ワラー ヤフッドゥ アラー タアーミ＝ル＝ミスキーン ④ファワイルン リ＝ル＝ムサッリーン ⑤アッラズィーナ フム アン サラーティヒム サーフーン ⑥アッラズィーナ フム ユラーウーン ⑦ワヤムナウーナ＝ル＝マーウーン

＜意味＞

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。①あなたは，審判を嘘であるとする者を見たか。②かれは，孤児に手荒くする者であり，③また貧者に食物を与えることを勧めない者である。④災いなるかな，礼拝する者でありながら，⑤自分の礼拝を忽せにする者。⑥（人に）見られるための礼拝をし，⑦慈善を断わる者に。

(١٠٨) سُورَةُ الكَوثَرِ مَكِّيَّةٌ
وَآيَاتُهَا ثَلَاثٌ

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَٰنِ الرَّحِيمِ

إِنَّا أَعْطَيْنَاكَ الْكَوْثَرَ ﴿١﴾ فَصَلِّ لِرَبِّكَ وَانْحَرْ ﴿٢﴾

إِنَّ شَانِئَكَ هُوَ الْأَبْتَرُ ﴿٣﴾

(١٠٩) سُورَةُ الكَافِرُونَ مَكِّيَّةٌ
وَآيَاتُهَا سِتٌّ

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَٰنِ الرَّحِيمِ

قُلْ يَا أَيُّهَا الْكَافِرُونَ ﴿١﴾ لَا أَعْبُدُ مَا تَعْبُدُونَ ﴿٢﴾

وَلَا أَنْتُمْ عَابِدُونَ مَا أَعْبُدُ ﴿٣﴾ وَلَا أَنَا عَابِدٌ مَا عَبَدْتُمْ ﴿٤﴾

وَلَا أَنْتُمْ عَابِدُونَ مَا أَعْبُدُ ﴿٥﴾ لَكُمْ دِينُكُمْ وَلِيَ دِينِ ﴿٦﴾

第108章
スーラト=ル=カウサル
潤沢章

ビスミッ=ラーヒッ=ラフマーニッ=ラヒーム　①インナー　アアタイナーカ=ル=カウサル　②ファサッリ　リラッビカ　ワ=ンハル　③インナ　シャーニアカ　フワ=ル=アブタル

＜意味＞

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。①本当にわれは，あなた（ムハンマド）に潤沢を授けた。②さあ，あなたの主に礼拝し，犠牲を捧げなさい。③本当にあなたを憎悪する者こそ，（将来の希望を）断たれるであろう。

第109章
スーラト=ル=カーフィルーン
不信者たち章

ビスミッ=ラーヒッ=ラフマーニッ=ラヒーム　①クル　ヤーアイユハ=ル=カーフィルーン　②ラー　アアブドゥ　マー　タアブドゥーン　③ワラー　アントゥム　アービドゥーナ　マー　アアブドゥ　④ワラー　アナ　アービドゥン　マー　アバットゥム　⑤ワラー　アントゥム　アービドゥーナ　マー　アアブドゥ⑥ラクム　ディーヌクム　ワリヤ　ディーン

＜意味＞

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。①言ってやるがい「おお不信者たちよ，②わたしは，あなたがたが崇めるものを崇めない。③あなたがたは，わたしが崇めるものを，崇める者たちではない。④わたしは，あなたがたが崇めてきたものの，崇拝者ではない。⑤あなたがたは，わたしが崇めてきたものの，崇拝者ではない。⑥あなたがたには，あなたがたの宗教があり，わたしには，わたしの宗教があるのである。」

(١١٠) سورة النصر مدنية
وآياتها ثلاث

بِسْمِ ٱللَّهِ ٱلرَّحْمَٰنِ ٱلرَّحِيمِ

إِذَا جَآءَ نَصْرُ ٱللَّهِ وَٱلْفَتْحُ ﴿١﴾ وَرَأَيْتَ ٱلنَّاسَ يَدْخُلُونَ
فِي دِينِ ٱللَّهِ أَفْوَاجًا ﴿٢﴾ فَسَبِّحْ بِحَمْدِ رَبِّكَ وَٱسْتَغْفِرْهُ ۚ
إِنَّهُۥ كَانَ تَوَّابًا ﴿٣﴾

(١١١) سورة المسد مكية
وآياتها خمس

بِسْمِ ٱللَّهِ ٱلرَّحْمَٰنِ ٱلرَّحِيمِ

تَبَّتْ يَدَآ أَبِي لَهَبٍ وَتَبَّ ﴿١﴾ مَآ أَغْنَىٰ عَنْهُ مَالُهُۥ وَمَا

第110章
スーラト=ン=ナスル
援　助　章

ビスミッ＝ラーヒッ＝ラフマーニッ＝ラヒーム　①イザー　ジャーアナスルッ＝ラーヒ　ワ＝ル＝ファトゥフ　②ワラアイタ＝ン＝ナーサヤドゥフルーナ　フィー　ディーニッ＝ラーヒ　アフワージャー　③ファサッビフ　ビハムディ　ラッビカ　ワスタグフィルフ　インナフー　カーナタウワーバー

＜意味＞

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。①アッラーの援助と勝利が来て，②人びとが群れをなしてアッラーの教え（イスラーム）に入るのを見たら，③あなたの主の栄光を誉め称え，また御赦しを請え。本当にかれは，度々赦される御方である。

第111章
スーラト=ル=マサド
棕　櫚　章

ビスミッ＝ラーヒッ＝ラフマーニッ＝ラヒーム　①タッバトゥ　ヤダー　アビー　ラハビン　ワ　タッバ　②マー　アグナー　アンフ　マールフー　ワ　マー　カサバ　③サヤスラー　ナーラン　ザーダ　ラハブ　④ワムラアトゥフー　ハンマーラタ＝ル＝ハタブ　⑤フィー　ジーディハー　ハブルン　ミン　マサド

كَسَبَ ﴿٢﴾ سَيَصْلَىٰ نَارًا ذَاتَ لَهَبٍ ﴿٣﴾ وَٱمْرَأَتُهُۥ حَمَّالَةَ
ٱلْحَطَبِ ﴿٤﴾ فِى جِيدِهَا حَبْلٌ مِّن مَّسَدٍ ﴿٥﴾

(١١٢) سورة الإخلاص مكية
وآياتها أربع

بِسْمِ ٱللَّهِ ٱلرَّحْمَٰنِ ٱلرَّحِيمِ

قُلْ هُوَ ٱللَّهُ أَحَدٌ ﴿١﴾ ٱللَّهُ ٱلصَّمَدُ ﴿٢﴾ لَمْ يَلِدْ وَلَمْ
يُولَدْ ﴿٣﴾ وَلَمْ يَكُن لَّهُۥ كُفُوًا أَحَدٌۢ ﴿٤﴾

(١١٣) سورة الفلق مكية
وآياتها خمس

بِسْمِ ٱللَّهِ ٱلرَّحْمَٰنِ ٱلرَّحِيمِ

قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ ٱلْفَلَقِ ﴿١﴾ مِن شَرِّ مَا خَلَقَ ﴿٢﴾ وَمِن شَرِّ

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。①アブー・ラハブの両手は滅び，かれも滅びてしまえ。②かれの富も儲けた金も，かれのために役立ちはしない。③やがてかれは，燃え盛る炎の業火の中で焼かれよう。④かれの妻はその薪を運ぶ，⑤首に棕櫚の荒縄をかけて。

第112章
スーラト=ル=イフラース
純　正　章

ビスミッ＝ラーヒッ＝ラフマーニッ＝ラヒーム　①クル　フワッ＝ラーフ　アハド　②アッラーフッ＝サマド　③ラム　ヤリド　ワ　ラム　ユーラド　④ワ　ラム　ヤクッラフー　クフワン　アハド

＜意味＞

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。①言ってやるがいい。「かれはアッラー，唯一なる御方であられる。②アッラーは，自存され，③御産みなさらないし，御産れになられたのではない。④かれに比べ得る，何ものもない。」

第113章
スーラト=ル=ファラク
黎　明　章

ビスミッ＝ラーヒッ＝ラフマーニッ＝ラヒーム　①クル　アウーズ　ビラッビ＝ル＝ファラク　②ミン　シャッリ　マー　ハラク　③ワ　ミン　シャッリ　ガースィキン　イザー　ワカブ　④ワ　ミン　シャッリ＝ン＝ナッファーサーティ　フィ＝ル＝ウカド　⑤ワ　ミン　シャッリ　ハースィディン　イザー　ハサド

غَاسِقٍ إِذَا وَقَبَ ﴿٣﴾ وَمِن شَرِّ ٱلنَّفَّٰثَٰتِ فِى ٱلْعُقَدِ ﴿٤﴾

وَمِن شَرِّ حَاسِدٍ إِذَا حَسَدَ ﴿٥﴾

(١١٤) سُورَةُ النَّاسِ مَكِّيَّةٌ وَآيَاتُهَا سِتٌّ

بِسْمِ ٱللَّهِ ٱلرَّحْمَٰنِ ٱلرَّحِيمِ

قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ ٱلنَّاسِ ﴿١﴾ مَلِكِ ٱلنَّاسِ ﴿٢﴾

إِلَٰهِ ٱلنَّاسِ ﴿٣﴾ مِن شَرِّ ٱلْوَسْوَاسِ ٱلْخَنَّاسِ ﴿٤﴾

ٱلَّذِى يُوَسْوِسُ فِى صُدُورِ ٱلنَّاسِ ﴿٥﴾ مِنَ ٱلْجِنَّةِ

وَٱلنَّاسِ ﴿٦﴾

＜意味＞

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。①言ってやるがいい。「黎明の主に御加護を求め願う。②かれが創られるものの悪（災難）から，③深まる夜の闇の悪（危害）から，④結び目に息を吹きかける（妖術使いの）女たちの悪から，⑤また嫉妬する者の嫉妬の悪（災厄）から。」

第114章
スーラト＝ン＝ナース
人　間　章

ビスミッ＝ラーヒッ＝ラフマーニッ＝ラヒーム　①クル　アウーズ　ビラッビ＝ン＝ナース　②マリキ＝ン＝ナース　③イラーヒ＝ン＝ナース　④ミン　シャッリ＝ル＝ワスワースィ＝ル＝ハンナース　⑤アッラズィー　ユワスウィス　フィー　スドゥーリ＝ン＝ナース　⑥ミナ＝ル＝ジンナティ　ワ＝ン＝ナース

＜意味＞

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。①言ってやるがいい。「御加護を求め願う，人間の主，②人間の王，③人間の神に。④こっそりと忍び込み，囁く者の悪から。⑤それは人間の心に囁きかける，⑥ジン（幽精）であろうと，人間であろうと。」

آيَةُ الْكُرْسِيِّ

اللَّهُ لَا إِلَٰهَ إِلَّا هُوَ ۚ الْحَيُّ الْقَيُّومُ ۚ
لَا تَأْخُذُهُ سِنَةٌ وَلَا نَوْمٌ ۚ لَّهُ مَا فِي السَّمَاوَاتِ
وَمَا فِي الْأَرْضِ ۗ مَن ذَا الَّذِي يَشْفَعُ عِندَهُ إِلَّا
بِإِذْنِهِ ۚ يَعْلَمُ مَا بَيْنَ أَيْدِيهِمْ وَمَا خَلْفَهُمْ ۖ وَلَا يُحِيطُونَ
بِشَيْءٍ مِّنْ عِلْمِهِ إِلَّا بِمَا شَاءَ ۚ وَسِعَ كُرْسِيُّهُ
السَّمَاوَاتِ وَالْأَرْضَ ۖ وَلَا يَئُودُهُ حِفْظُهُمَا ۚ
وَهُوَ الْعَلِيُّ الْعَظِيمُ ﴿٢٥٥﴾

アーヤト＝ル＝クルシー

玉　座　節

アッラーフ　ラー　イラーハ　イッラー　フワ＝ル＝ハイユ＝ル＝カイユーム　ラー タァフズフー スィナトゥン　ワラー ナウム　ッラフー マー　フィッ＝サマーワーティ ワ マー フィ＝ル＝アルディ　マン ザッ＝ラズィー　ヤシュファウ　インダフー　イッラー　ビイズニヒ　ヤアラム マー　バイナ　アイディーヒム　ワマー ハルファフム　ワラー　ユヒートゥーナ　ビシャイイン　ミン　イルミヒー　イッラー　ビマー　シャーア ワスィア　クルスィーユフッ＝サマーワーティ　ワ＝ル＝アルダ　ワ ラー ヤウードゥフー　ヒフズフマー　ワフワ＝ル＝アリーユ＝ル＝アズィーム

＜意味＞

アッラー，かれの外に神はなく，永生に自存される御方。仮眠も熟睡も。かれをとらえることは出来ない。天にあり地にある凡てのものは，かれの有である。かれの許しなくして，誰がかれの御許で執り成すことが出来ようか。かれは（人びとの），以前のことも以後のことをも知っておられる。かれの御意に適ったことの外，かれらはかれの御知識に就いて，何も会得するところはないのである。かれの玉座は，凡ての天と地を覆って広がり，この２つを守って，疲れも覚えられない。かれは至高にして至大であられる。　（第２章255節）

※この節は，夜，寝る時に横になってから唱えるのが好ましい。

(P.18) Sub–ha–na–kal–la–hum–ma, wa–bi–hum–di–ka, wa–ta–ba'ra–kas–mo–ka, wa–ta–a'a–la, jud–do–ka, wa–la–ila–ha, ghai–rok.

.....

(P.20) "At–ta–hi–ya–tu lil–la–hi wass–sa–la–wa–tu wat–tai–yi–ba–tu, us–sa–la–mu, a'lai–ka ai–yo–han--na–biy–yu, wa–rah–ma–tul–la–hi, wa–ba–ra–ka–tuh, us–sa–la–mu a'lai–na, wa–a'la i'ba–dil–la–hiss–sa–li–heen, ush–ha–du, al–la–ila–ha, ill–lull–la–ho wa–ush–ha–du–an–na, muhum–ma–dan ab–du--hu wa–ra–sooluh".

.....

(P.20/21) "Al–la–hum–ma, sal–li–a'la–Mu–hum–ma–din, wa, ala aa–li Mu–hum–ma--din, ka–ma–sal–lai–ta, ala, Ib–ra--hee–ma, wa, ala, aa–li, Ib–ra–hee–ma, in–na–ka, ha–mee–dum, majeed".

"Al–la–hum–ma, ba–rik a'la–Mu–hum–ma–din, wa–a'la, aa–li, Mu--hum–ma–din, ka–ma ba–rak–ta, a'la, Ib–ra–heema, wa, ala, aa–li, Ib–ra–hee–ma, in–na–ka, ha–mee–dum, majeed".

.....

(P.34) **AL-FATIHA**, OR THE OPENING CHAPTER

Bis-mil-lah-hir-rah-maa-nir-ra-heem.

1. Al-hum-do, lil-lahi, rub-bil, aala-meen.
2. Ar-rah-ma-nir-ra-heem.
3. Ma-li-ki, yau-mid-deen.
4. Iyya-ka, na-bu-du, wa, iyya-ka, nas-ta-een.
5. Ih-di-nas-sira-tal-mus-ta-qeem.
6. Sira-talla-zhina, un-am-ta, alai-him, Ghairil, magh-du-bi, alai-him, wa-ladh-dhaal-lèen.

(aameen)

SHORT CHAPTERS OF THE HOLY QURAN

(P.37) AL-ASR, OR TIME THROUGH THE AGES

Bis-mil-lah-hir-rah-maa-nir-ra-heem

1. Wal-asri
2. In-nal, insaa-na, la-fee-khus-rin
3. Il-lul-la-zhee-na, aama-nu, wa ami-lus-saa-li-ha-ti, wa-tawa-sau, bil-haq-qi, wa-tawa-sau, bis-sabr.

(P.45) AL-KAUTHAR, OR ABUNDANCE

Bis-mil-lah-hir-rah-maa-nir-ra-heem.

1. In-naa -aa-taina-kal-kau-thar
2. Fa-sal-li, li-rub-bi-ka, wan-har
3. In-na, sha-ni-aka-hu-wal-ab-tar.

(P.47) AL-NASR, OR HELP

Bis-mil-lah-hir-rah-maa-nir-ra-heem.

1. Izha, ja-a, nas-rul-la-hi, wal-fat-ho,
2. Wa-ra-aitan-na-sa, yad-khu-loo-na, fee, dee-nil-la-hi, af-wa-ja
3. Fa-sub-bih, bi-hum-di-Rabbi-ka, was-tagh-fir-ho, in-na-hoo, ka-na, taww-wa-ba.

SHORT CHAPTERS OF THE HOLY QURAN

(P.49) AL-IKHLAS, OR PURITY (OF FAITH)

Bis-mil-lah-hir-rah-maa-nir-ra-heem.

1. Qul, ho-wal-la-ho, a-hud
2. Al-la-hus-sa-mud
3. Lum-ya-lid, wa- lum-yoo-lud
4. Wa, lum, ya-kun-la-hu, ku-fu-won, a-hud.

(P.49) AL-FALAQ, OR THE DAWN

Bis-mil-lah-hir-rah-maa-nir-ra-heem.

1. Qul, a-oo-zhu, bi-rub-bil, fa-laq
2. Min, shur-ri, ma-kha-laq
3. Wa, min,shur-ri, gha-si-qin, Izha, wa-qub
4. Wa, min, shur-rin, naf-fa-tha-ti, fil, O-qad
5. Wa, min, shur-ri, ha-si-din, izha, ha-sud.

(P.51) AN-NAS, OR THE MANKIND

Bis-mil-lah-hir-rah-maa-nir-ra-heem.

1. Qul, a-oo-zhu, bi-rub-bin-naas
2. Ma-likin-naas
3. Ila-hin-naas
4. Min,shur-ril, wass-wa -sil, Khun-naas
5. Al-la-zhi, yu-wuss, wi-so, fee, su-doo-rin-naas
6. Mi-nal, Jin-na-ti, won-naas.

المر كز الاسلامي في اليابان